

備前市事務事業評価表

事務事業名	青少年活動支援事業	コード	担当課係	生涯学習課生涯学習係
		03-02-02-03	担当者	波多野 靖成
事業実施期間	平成元年度～		電話	0869-64-1841
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目	生きがいのあるまちづくり		
	小項目	青少年教育		
	施策	青少年の主体的活動の充実		

事業について	
目的	青年協議会及びFOS少年団に補助金を交付し、その活動を支援することにより、ボランティア活動や市の行う事業への協力など、地域社会への寄与を目的とする。
対象（誰のために）	備前市青年協議会、吉永町青年団、日生町FOS少年団、吉永町FOS少年団
内容	補助金交付事務及び活動支援。

事業の結果							
実施項目		17年度		回数など		回数など	
		回数など		回数など		回数など	
備前・吉永青年団員数		34人					
青年主催行事への市民参加者数		400人					
日生・吉永FOS団員数		137人					
事業費		財源		事業費		財源	
（単位：千円）		（単位：千円）		（単位：千円）		（単位：千円）	
必要人員		0.15人					
結果指標①	結果指標名	青年主催行事への市民参加者数					
	結果指標量	400人					
	単位	人					
	対前年比	0.00%					
結果指標②	結果指標名	日生・吉永FOS団員数					
	結果指標量	137人					
	単位	人					
	対前年比	0.00%					

事業の成果			
成果指標名	FOS・青年会員数	式又は説明	青少年活動への参加者数
成果指標量	171		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	200	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	課題認識 地域社会における青少年活動の参加窓口として機能しており、FOSは少年期におけるボランティア参加、青年は広く市民を対象とした事業を企画運営、または市主催行事への参画など貢献度は高いものがある。両団体とも子供の減少、青年層におけるニーズの多様化などにより、会員数の増加が望みにくいものがある。
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	コストの効率化 会員の減少に伴い、必然的にコストは増加するものと思われるが、社会教育関係団体の中でも、広く市民を対象とした独自事業を行っている青年に関しては、一概に人数でコスト評価すべきではないと考える。それに対してFOSは国内の活動こそ、少年・少女期における貴重な社会体験活動となるため、ぜひ団員数を維持していただきたいと思う。
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	目的達成度 合併後、それぞれの地域への浸透度が今一歩のところがあるので、市全体としての組織として統一組織あるいは連合組織への発展を図り、活動への参加者数の増加につなげていきたいと思う。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

総合評価		評価区分
コ	青年・FOS共に新備前市を代表する組織の結成を呼びかけ、広くその活動が浸透するようにすればまだまだ開拓の余地があると見る。県下に於いても特に青年団は減少・消滅する団（会）が多い中、備前市は精力的な活動（県青年祭で優勝するなど）を維持しているため、その予備軍としてのFOS少年団と共に、今後も引き続き活動を援助する。	<A~E> C

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する（行政資源を集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	600人
結果指標量②	140人
目標値	200人

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	両団体共に合併による1団体とする	18・19年度	活動の更なる活性化・民間による新市への一体感

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。